

NOで未来は変えられる

山口県周南市立富田中学校 2年 末次 遥花



「このくらいなら大丈夫」誰もが、一度はこの軽い気持ちから始まった行動で、先生や親から注意を受けた経験があるだろう。

例えば、本当は学校に持ってきてはいけない物をこっそりと持ってきたり、立ち入り禁止の場所に入ったり。それくらいなら他人に大きな迷惑をかけるわけではないし、人生に影響を与えるわけでもない。

しかし、万引きや未成年者の喫煙はどうなのだろうか。

実際に起きている未成年者による犯罪を調べたところ、万引きが圧倒的に多く、それに続いて喫煙や飲酒などがあった。しかも、それらの犯罪は私達と同じ中学生がほとんどで衝撃を受けた。これを知ってふと思い出したのが、以前おじが話してくれた中学生のときの体験談だ。それは、友人と三人で遊んでいるとき、自分以外の二人が万引きを誘ってきたという話だ。断わろうと思っても、その人は先輩という立場だったため、怖くて何も言えなかったらしい。結局おじは走ってその場から逃げ、後から二人は親や学校の先生を巻き込む大騒ぎになったとか。

私はその話を聞きながら、もし一緒に犯罪に手を出していたら…と考えてぞっとした。同時におじと同じような体験をして、犯罪に手を出してしまった人がいるのではないかと思い、実際にあった事件を調べてみた。

とある中学校の女の子が、唯一クラス内で仲良くしてくれる友人に万引きを誘われ、捕まるまで何度も繰り返したという事件。一回目は注意だけで済んだため、それから違うお店で万引きをしていたらしい。

私は、なぜ悪いことだと理解しているのにも関わらず、万引きを繰り返すのかと疑問に思ったが、実は万引きやその他の犯罪も、癖になりやすくて繰り返してしまう人が多いと知った。一度犯罪に手を出してしまうと、学業や仕事を続けにくくなったり、今まで味方でいてくれた人達が離れていくことが主な再犯の原因であるみたいだ。その結果、気付けば取り返しの付かないことになるのだろう。

そこで私は、犯罪を犯さないというのは、もちろんのこと、もし友人に誘われたり、犯罪に手を出している人を目撃したりしたときに、どのような行動が必要なのかを考えてみた。

まずは周りの大人に伝えることだ。おじから聞いたのは、いざその場面に出くわした際本人にやめるように伝えることはどうしても難しいこと。だが、その場から離れて親や先生に報告をすることができれば、相手や周りの人、そし

て自分のためにもなるはずだ。

勇気がいることだが、そのときの自分の行動で誰かの人生に影響を与えるに違いない。

そして次は、未成年者の犯罪を防ぐための取り組みについて調べてみた。犯罪を犯してしまう未成年者の多くは、心に何かしらの傷を負っていたり、家庭環境が悪かったりという原因がある。そのため、全国各地で警察やボランティア団体による情報発信、通学時等の声掛けや挨拶運動などの取り組みがあるそう。

私達が住んでいる山口県では、学校で非行防止教室を行ったり、定期的に生活アンケートを実施したりしている。

私は学校で薬物乱用防止教室を受けた際、詳しい数値やグラフを用いた説明があったり、アニメや画像を使ったりと、楽しみながら薬物の怖さについて知ることができた。

その経験から、私達中学生が少年非行について調べ、小学生や幼児などに説明する機会を設けることができれば良いなと考えた。

犯罪の話は少し難しい部分もあるが、劇や紙芝居などの道具を用いることで、楽しみながら犯罪について知ってもらえると思う。そして、中学生も発表準備や話し合いの活動などで知識を深めることができるため、お互いの学びになると考えたのだ。

私は犯罪の中でも万引きに注目をしたが、その他にも私達が気をつけるべきことは山ほどある。犯罪など自分の近くで起こらないから大丈夫だと油断していたら、本当にその場面に直面したときに正しい判断ができず、自分や大切な人の将来を壊してしまうかもしれないのだ。

少しでも未成年者による犯罪を減らすためには、学校での非行防止教室や情報発信を積極的に行い、誰もが「自分事」として考えることが重要であると思う。

私達中学生が「犯罪は絶対にしてはいけないこと」という強い意志をもって、断わる勇気、助けを求める大切さを理解することで、人々が安心して楽しく暮らせる未来になると思う。そして、身近な人に声をかけたり、気にかけていたりして、みんなで支え合っていける社会を創りたい。